

株式会社ジェイコム港新宿

放送番組審議会 議事録

平成29年度(2017年度)株式会社ジェイコム港新宿 放送番組審議会は、2018年3月27日(火)ジェイコム港新宿局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席	ご欠席
須永 達雄 様	関口 奈々恵 様
田中 秀司 様	
香月 修 様	
金井 泰子 様	
福島 友子 様	
牛山 佳奈代 様	
黒葛原 浩 様	
村上 京子 様	

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：須永会長

■「デイリーニュース」について

委員

平成 29 年度に実施した区民調査で「どのようなツールで知りたい情報を得ているか」を調べたところ、世の中の動きや地域情報に関してはテレビで入手するという結果が出た。そうした点からも 10 月から放送を開始した「デイリーニュース」は非常に有効だと思う。内容の充実としては、天気予報も含めて、関心を持って見てもらえる地域の出来事やニュースをこれまで以上に盛り込んでほしい。新宿区でも港区でも様々な事業を行っているので、行政側も積極的に情報を提供していく。

事業者

始まったばかりの番組なので、まだまだ皆様から情報をお寄せ頂きたい。“街の話題”は「デイリーニュース」、”行政発信の情報”は広報番組でしっかりと取り扱うことで、両輪として発展させていきたい。

■アプリ「ど・ろーかる」について

委員

アプリ「ど・ろーかる」は地域に興味があれば見ていけるが、関心がないとそこまで入り込んでいけない。ただし、紹介されると見る人も多いため、きっかけ作りが重要だと感じる。

委員

ライブカメラは全国のどこに設置されているのか知りたい。大雪や台風の際にライブで映像が見られると安心感が大きい。防災上の安心・安全のためにも是非 都心部に多く追加設置してもらいたい。

事業者

アプリの画面上で「ライブカメラ」のタブを押すと一覧が見られるうえ、地図上から探すこともできる。もともとライブカメラの設置個所は、津波情報用に海側と交通渋滞が慢性的に起きる主要幹線道路が中心になっている。今後は安心・安全面で役立つ場所への設置を検討していく。

■視聴層のターゲティングに関して

委員

視聴者の年齢層を知りたい。若い人から高齢層まで幅広いターゲットを狙っている印象。地域スポーツや保育園・幼稚園などの学校情報も取り上げているが、港区・新宿区は歴史的な背景が深いエリアなので、そうした題材を取り上げると特定の層に大きく響くと思う。

委員

地域別というのは理解したが、子供向けや働く人向け・高齢者向けといった対象別の番組はあるのか？例えば老人クラブのカラオケ大会や舞踊の発表会などもあるので、万遍なくカバーするのは難しいとは思いますが、意識して取り上げていくとチャンネルのファンが育つだろう。

事業者

加入者様は 50～60 代の方が多く、そのご家族やお子様向けのコンテンツ拡充を進めている。地域情報は若年層より高齢層の関心が高い傾向にあるが、アプリ「ど・ろーかる」での配信など、テレビ離れが著しい若年層への訴求も開始した。今後はスマホ向けコンテンツとして、地域スポーツやコンサートなども取り扱っていきたい。

■情報の収集方法について

委員

全国の CATV 局やラジオ局を回っているが、地方に行くほど扱える情報不足になっていくため、市民リポーターやパブリック・アクセスを積極的に取り入れている。J:COM は都心部にあるので情報があふれているため、区民との関わりは出演が中心になっている。今後は区民に情報を寄せてもらい、責任を持ってレポートしてもらおうと視聴のきっかけになるだろう。実際に区民が撮影した映像を放送したり、アプリで配信したりすると継続的に参加できる仕組みとなり、より地域に浸透していくと思う。

事業者

ご指摘のとおり、現在プロモーションに注力している。Facebook・Twitter・Instagram といった SNS での訴求にも着手しており、ターゲットを絞って SNS 広告への出稿も始めた。視聴者参加型の施策としては、SNS から視聴者に画像投稿を募り、投稿者にプレゼントが当たるという試みを行っている。今後はアプリ「ど・ろーかる」に動画投稿機能を持たせるなど、より参加型の番組を増やしていきたい。

■ 地域スポーツについて

委員

卓球の人气が上昇しているが、取材すると面白い大会があるので紹介したい。東京卓球選手権大会は東京で行われる全国大会で、中学生の部から 90 歳代の部まである。3 年前から芸能人が参加するショービズの部がつくられ、ボクシングの長谷川穂積さん、タレントのパックンさん、落語家の三遊亭小遊三さんと顔ぶれも豪華。90 歳代の部は 10 名にも満たないが元気に卓球をしている。自分と同世代の選手がプレーする姿は、幅広い視聴者層に訴えかけるコンテンツになり得ると思う。全国大会のため地方予選を勝ち抜いた選手が集まっているのでレベル的にも申し分ない。未来の日本代表が出てくるかもしれない大会なのでトップアスリートに興味がある老若男女が楽しめると思う。

■ 視聴のきっかけが大切

委員

学生と一緒に「サカリバン」の撮影に参加させてもらったが、とにかく学生たちが楽しんでいて、番組の PR に参加させてもらったことで学生たちの自信にもつながったし、地域に興味を持つきっかけとなった。

若者はテレビを見ない、地域に関心がないと言われるが、動機さえあればテレビや地域に向き合う。

授業で扱ったことで番組を知らなかった生徒も夢中になっていたのも、せつかくの面白い取り組みが若年層に浸透していないことが課題だと感じる。求められているのは、きっかけ作りだと思う。

■ 編成について

委員

東京五輪に向けて各国とも文化プログラムに取り組んでいる。それに沿って、文化や芸術・歴史を織り込んだ番組を放送していくと「今感」が色濃く出てくると思う。実際に映像化するのは困難かもしれないが、そうし

た意図を持って制作することでもっと魅力あるチャンネルになるだろう。

事業者

「秩父宮みなとラグビーまつり」のようなイベントの運営も行っているので、行政や商工会議所と連携して番組コンテンツを制作していきたい。「デイリーニュース」や特番でも文化事業や歴史を取り上げていく。

委員

パラリンピックといった障害者スポーツの取り組みは来期の編成に含まれているか？ 地域共生社会を目指して、港区・新宿区が力を入れていることを広く知ってもらいたい。

事業者

在京ケーブルテレビ全社で東京のコンテンツを扱っていかうという動きがあり、パラスポーツに力を入れていく予定。東京発信のパラリンピック出場が期待できるアスリートを取り上げていきたい。

委員

港区医師会とのつながりで若い学生のコンサートを開催している。若い子たちは演奏したくて仕方ないし、人前で演奏することで成長するので放送などの機会を与えてあげてほしい。最近は卓球や将棋など若い子たちの活躍が目立っているが、音楽は小学生でもプロ顔負けの演奏をする子がいる。そうした世界をもっと知ってもらいたい。

以上